

令和8年3月能代市議会定例会

# 市長説明要旨



令和8年3月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、雪害対策についてであります。今冬は長期間にわたる寒波の影響で積雪量が増えたため、1月28日に雪害対策連絡部を設置し、被害の状況や大雪による影響等の情報収集を行い、庁内各部局の対策の実施状況や検討状況等の情報共有を図るなど、全庁での連携を強化してまいりました。

その後、気温上昇による融雪災害や2月7日から9日にかけて見込まれた今シーズン最強の寒波への警戒に加え、幹線道路等の除排雪強化や衆議院議員総選挙等への影響を考慮し、2月3日に雪害対策警戒部へ改組して体制を強化したところ、同日付けで本市に災害救助法が適用されました。

これまで4回にわたり雪害対策警戒部会議を開催し、被害等の状況把握、市民に対する支援制度の情報提供を行ったほか、高齢者等への対応や道路の除排雪対策等を強化し、市民の安全安心の確保に努めてまいりました。

2月16日現在の被害状況については、除雪や雪下ろし作業中の転倒、転落等による人的被害が8人、住家被害が半壊1棟、一部破損14棟、車庫や倉庫等の非住家被害が全壊3棟、半壊5棟、一部破損3棟、ビニールハウスの倒壊が45棟のほか、アーケード破損等の被害を確認しております。

支援制度の情報提供については、市のホームページや公式SNS、防災行政無線、防災情報メール、報道機関等を通じて行ったほか、除雪・屋根の雪下ろし作業時の事故防止や農業施設の被害等について注意喚起をしております。

高齢者等への対応については、能代市社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携しながら見守りを強化するとともに、除排雪等に係る支援制度の周知に努めており、2月16日現在で、除雪ボランティアの出動実績が69件、雪下ろし費用助成事業の利用申込みが27件と、例年より増加しております。

道路の除排雪対策については、能代地域では、幹線道路において、有効幅員を確保するための幅出しのほか、見通しの悪い交差点等の排雪を、また、生活道路において、2月12日までに、20を超える自治会と協働で排雪を実施いたしました。二ツ井地域では、二ツ井・荷上場地区のすれ違いが困難な幹線道路等において直営作業により排雪を、また、1月25日からは、富根地区、切石地区等各地区にも範囲を広げ、委託業者に依頼して地区内幹線道路等の排雪を実施しております。

高齢者等の見守りや除雪ボランティア、雪捨て場の提供、道路の除排雪作業等に御協力くださいました市民の皆様をはじめ、国や県、民間事業者等関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2月16日午前9時の積雪深は、能代地域23cm、二ツ井地域65cmとなって

おり、今後も気象状況を注視しながら落雪等による事故防止を呼び掛け、市民の皆様の安全安心の確保に努めてまいりたいと考えております。

次に、JAXA能代ロケット実験場を核とした水素・宇宙産業の振興についてであります。令和7年度は、水素ラボ構想の構想1、ボイルオフガスの再利用について、水素ガスの再利用施設整備に係る基本設計や概算費用の算定等を行っており、8年度以降、具体的な施設整備に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

また、構想2、水素ラボの整備については、多くの企業や大学のほか、国、県にも参画していただき、水素に加え宇宙分野に関係する企業の集積や人材育成拠点の整備に向けた産学官連携による協議会の設置を検討しております。

市といたしましては、JAXAとの連携をさらに強化するとともに、多くの企業等の協力も得ながら、水素と宇宙の両産業分野を地域の新たな価値創造の軸として育て、産業振興と雇用確保、地域の活力向上へとつなげてまいりたいと考えております。

高校魅力化の推進についてであります。地域の教育に対する共通認識の醸成と高校魅力化に向けた実効性のある取組を進めるため、地域と共に育む高校魅力化会議を設置いたしました。

本会議は、学校関係者をはじめ、地域団体、企業等、多様な立場の44名の委員で構成しており、1月22日に開催した第1回会議では、高校生にも御参加いただき、20年後の能代市の姿をテーマとしたワークショップを実施しております。

今後も意見交換等を重ね、高校を取り巻く環境やニーズに対する共通認識を深めながら、市内の各高校が地元の小中学生はもとより、市外、県外からも選んでいただけるよう、地域全体で魅力化に向けて取り組んでまいります。

外国人材の受入・共生推進事業についてであります。令和7年度から、外国人材を雇用した企業への外国人材受入推進助成金、円滑な就労とコミュニケーションを目的とした外国人材日本語能力向上助成金や日本語学習アプリの提供、地域活性化起業人と連携した多文化共生イベント開催等の取組を行っております。

このうち外国人材受入推進助成金については、1月末現在で13社から27名の受入れについて届出があったほか、さらに多くの問合せもあり、市内の事業者から有効な支援制度として認知され、活用いただいているものと感じております。

市といたしましては、今後さらに外国人材の増加が予想されることから、多文化共生の取組を進めるため、外国人材を対象とした日本語勉強会の開催や、日本人を対象とした日本語が不自由な方にも伝わりやすい「やさしい日本語」の学習等、受け入れ側の意識啓発活動のほか、日本人と外国人材が双方でコミュニケーションが取れる拠

点の整備等について検討してまいりたいと考えております。

能代市DX推進計画についてであります。現行の計画は、令和5年度から7年度までを計画期間としており、これまで、マイナンバーカードの普及促進や行政手続のオンライン化、地域社会のデジタル化、自治体情報システムの標準化・共通化等に取り組んでまいりました。

社会全体でデジタル技術やAIの積極的な活用が進んでおり、人口減少が続く中で、今後も更なるDXの推進が必要であると考えております。これに加え、昨年12月に国の自治体DX推進計画が改定されたことから、現行の計画期間を1年延長し、改定内容や地域課題に対応した次期計画を、8年度中に策定したいと考えております。

能代七夕「天空の不夜城」についてであります。一般財団法人地域活性化センターが主催する第30回ふるさとイベント大賞において、大賞に次ぐ県内初の最優秀賞を受賞することとなりました。

同賞は、各地で開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられたもので、過去には五所川原市の立佞武多や大仙市の全国500歳野球大会が優秀賞を受賞しております。

市といたしましては、今回の受賞を契機とし、主催者や関係団体等の皆様と協力しながら、イベントの更なる発展に向け取り組んでいくとともに、県内外から訪れる多くの方々に本市の魅力をPRしてまいりたいと考えております。

JR能代駅における乗車券類簡易委託販売についてであります。JR東日本秋田支社より、「昨今の生活様式の変化や少子高齢化等の社会的要因による利用者数の減少に鑑み、令和8年3月をもって能代駅の窓口営業を終了する」との報告がありました。

能代駅は、通勤や通学等に利用される本市の交通の重要拠点であることから、市といたしましては、駅管理人による切符販売が引き続きできるようJR東日本秋田支社と契約を締結し、乗車券類簡易委託販売を行いたいと考えております。現在、必要な手続とともに、体制整備を進めており、利用者の利便性低下を最小限にとどめられるよう努めてまいります。

二ツ井町庁舎の改修工事についてであります。昨年9月1日から工事に着手し、現在、1階の市民福祉課を除く3課の執務室を中心に施工しているところであります。工事の進捗に伴い、新たに追加施工が必要となる箇所が判明したことや、改修機器

の納品に遅れが生じたことにより、令和8年7月31日までの工期を12月末まで延長せざるを得ない状況となっております。これに伴い、二ツ井図書館についても二ツ井伝承ホールへの移転期間を9月末頃まで延長する予定であります。

来庁者の皆様には引き続き御不便をおかけすることとなりますが、御理解と御協力をお願いいたします。

フルコンサートグランドピアノ整備についてであります。2月6日に東京都品川区にあるスタインウェイ・ジャパン本社において、個体最終選定を行い、3台あるピアノの中から能代市文化会館に最もふさわしい1台を選定いたしました。納品は3月18日を予定しており、納品後約3か月間の弾き込みを経て、一般貸出しの開始は7月1日からを予定しております。

6月末頃にはスタインウェイピアノのデビューコンサート、また、秋頃には国内外で活躍する一流アーティストを招聘して披露公演を行い、多くの市民の皆さまに素晴らしい音色をお届けしたいと考えております。

文化財等企画展の開催についてであります。市では、市内に所在する文化財や歴史資料を安全かつ適切に保管するため令和5年度に文化財資料収蔵庫を設置し、さらに、6年度に収蔵品データベースシステムを整備して、収集整理及びオンライン公開を進めてまいりました。

文化財等は保存するだけでなく、観光や地域振興、教育等、様々な場面で活用し、市民が親しむ機会を充実させることで、保護の機運を高めることができ、次世代継承にもつながるものであることから、8年度に第1回の企画展を開催したいと考えております。今後は、オンライン公開とあわせ、定期的に企画展を開催し、文化財等の活用に努めてまいります。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市職員の給与に関する条例等の一部改正は、特殊勤務手当に危険鳥獣捕獲等作業手当を追加するとともに、初任給調整手当を改定しようとするものであります。

能代市過疎地域持続的発展計画については、能代市過疎地域持続的発展計画を定めようとするものであります。

能代市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正は、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、運営規程に定める利用定員に関する基準等を改めようとするものであります。

能代市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定は、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定

めようとするものであります。

能代市介護保険条例の一部改正は、介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和7年度税制改正による介護保険料収入不足を防ぐための特例を設けようとするものであります。

能代市公民館条例の一部改正は、能代市二ツ井公民館天神分館の老朽化に伴い、同分館の位置を変更しようとするものであります。

能代市道路占用料徴収条例の一部改正は、道路法施行令の一部改正に伴い、道路占用料の額の改定等をしようとするものであります。

このほか、秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更、物品の取得、能代市地域振興基金条例の廃止、二ツ井町庁舎空気調和設備改修工事の請負契約の変更、能代市印鑑条例の一部改正、あらたに生じた土地の確認、字の区域の変更、能代市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて提案しております。

次に、令和7年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

まず、歳入の主なものは、地方消費税交付金及び普通交付税の追加、国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加、就学前教育・保育施設整備交付金の減額、県支出金は、災害救助費負担金の追加、農地利用効率化等支援交付金の減額、繰入金は、財政調整基金繰入金の減額、市債は、庁舎整備事業債、道路整備事業債の減額等であります。

次に、歳出の主なものでありますが、減債基金積立金4,833万5千円、障害福祉サービス等給付費5,780万円、県営ほ場整備事業費4,740万円、生活バス路線等維持対策事業費1,355万7千円を追加したほか、二ツ井町庁舎大規模改修事業費、定額減税補足給付金事業費、福祉医療事業費、高齢者予防接種費、道路交付金事業費、中学校管理費等を減額整理しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は10億1,241万3千円の減額となり、これを2月3日専決処分した後の既定予算に加えますと、一般会計の総額は400億1,043万7千円となります。

次に、令和8年度能代市一般会計予算案について御説明いたします。

予算編成にあたっては、市長改選期に当たることから、義務的経費を中心とした骨格予算にすることを基本としながら、市民の安心・安全に関する事業や本市の最大の

課題である人口減少、良質な雇用の確保等へ継続して取り組むため、関係予算を計上しております。

主なものとしては、「元気で魅力あるまち（地域づくり・健康づくり）」では、「地域資源を活かした特色あるまちづくり」としてバスケの街づくり推進事業費、宇宙のまちづくり推進事業費を、「みんなが参加し活躍する地域づくり」としてボランティア養成等事業費、市民活動支援センター事業費を、「心豊かな暮らしを支える健康づくり」として福祉医療事業費、がん対策強化推進事業費を、「気軽に親しみ楽しめるスポーツ」として生涯スポーツ推進事業費、地域スポーツクラブ活動体制整備事業費を計上しております。

次に、「笑顔で人が輝くまち（人材育成・生涯活躍）」では、「地域や社会で支える子ども・子育て」としてすこやか子育て支援事業費、保育所等主食費助成事業費、学校給食無償化事業費を、「次代を担う子どもを育てる学校教育」として高校魅力化推進事業費、奨学金返還助成事業費、スクールDX推進事業費を、「地域や社会に活かす生涯学習・文化」として文化会館冷暖房送風装置等改修事業費、図書館改修等事業費を、「地域で活躍する元気な高齢者」として高齢者世帯等エアコン設置支援事業費補助金、能代ふれあいプラザ大規模改修事業費を、「自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障」として障害福祉サービス等給付費、重層的支援体制整備事業費を計上しております。

次に、「豊かで活力あるまち（産業振興・雇用創出）」では、「地域特性を活かした産業創出」として水素ラボ構想事業費、次世代エネルギー導入促進事業費を、「雇用とにぎわいを生み出す商工業」として外国人材受入・共生推進事業費、のしろ地元事業者経営等支援事業費、ローカルスタートアップビジネス創出事業費を、「豊かな自然や伝統・文化を活かした観光」として本因坊戦誘致事業費、道の駅ふたつし施設管理費を、「力強く持続する農業」としてねぎ産地PR事業費、農業構造転換支援事業費補助金を、「山・川・海を生かす林業・木材産業・水産業」として森林・林業活性化総合支援事業費、林業担い手育成事業費を計上しております。

さらに、「安心で暮らしやすいまち（生活環境・行財政）」では、「安全な暮らしを守る防災・防犯体制」として防災対策費、地域防災計画推進費を、「機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク」として地域公共交通デジタル化推進事業費、中心市街地道路施設更新事業費を、「快適で暮らしやすい住環境」として能代河畔公園水と階段の広場リニューアル事業費、公営住宅等長寿命化事業費を、「自然と共生し持

続できる環境・衛生」としてモア・リサイクルプラン推進事業費、能代山本広域市町村圏組合負担金（南部・北部・一般廃棄物処理施設）を、「調和のとれた有効な土地利用」として中心市街地活性化事業費、能代駅前市有地活用ホテル建設事業費補助金を、「住民サービスに資する効率的な行財政基盤」としてD X推進計画推進費、個人番号カード等交付事業費を計上しております。

次に、歳入の主なものについて申し上げます。

市税については、前年度当初予算に対して3.9%増の76億9,241万4千円を計上しております。地方交付税は、前年度当初予算に対して4.8%増の88億円を計上しております。繰入金は、財政調整基金繰入金16億983万3千円、減債基金繰入金5億1,721万3千円を含め、前年度当初予算に対して9.4%減の27億8,457万1千円を計上しております。市債は、前年度当初予算に対して74.0%減の20億8,090万円を計上しております。

これにより、令和8年度一般会計当初予算案の総額は、322億5,800万円となり、前年度当初予算額374億6,300万円に対し、52億500万円の減となっております。

このほか、令和7年度各特別会計・企業会計補正予算案及び令和8年度各特別会計・企業会計当初予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した令和7年度能代市一般会計補正予算2件を提出しております。

なお、人権擁護委員の候補者の推薦については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。